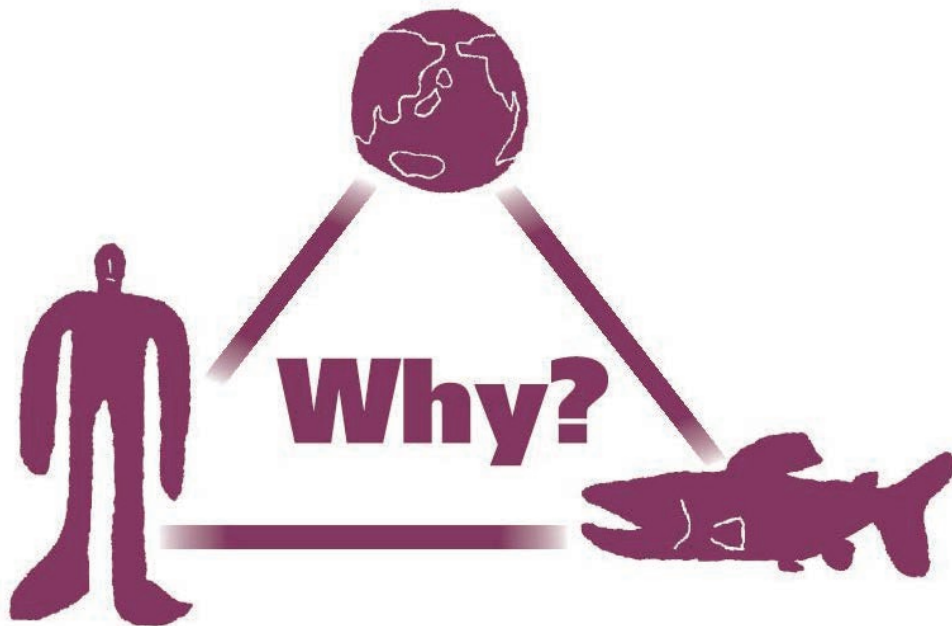


## 第15回 北海道淡水魚保護フォーラム in 札幌

# どうなる？ どうする？ ニジマス・ブラウントラウト ～「規制」と「利用」の両立を模索する～



- とき 2015年1月25日(日) 13:00～16:30(開場 12:00)
- ところ 札幌国際ビル8F国際ホール (札幌市中央区北4条西4丁目1)  
[http://www.itogumi.jp/kokusai\\_hall/access/](http://www.itogumi.jp/kokusai_hall/access/)  
※地下鉄さっぽろ駅8番出口すぐ横  
TEL:011-241-9020
- 主催 北海道淡水魚保護ネットワーク・北海道生物多様性保全活動連携支援センター
- 入場料 無料 (申し込み不要)  
※定員(座席数 180)を超えた場合は立ち見となります。
- 問合せ 長谷川功・坪井潤一／コーディネーター  
〒062-0922 札幌市豊平区中の島2条2丁目4-1  
TEL 011-822-2131/FAX 011-822-3342/E-mail: hasekoh@affrc.go.jp
- 要旨集 講演要旨集はこちらからもダウンロードできます↓  
<http://www.hokkaidofreshwaterfishconservation.net/>

## 第15回 北海道淡水魚保護フォーラム in 札幌

# どうなる？ どうする？ ニジマス・ブラウントラウト ～「規制」と「利用」の両立を模索する～

外来種問題とは、外来種が引き起こす諸問題の総称です。その内容は、アライグマによる農作物の被害など様々ですが、最大の問題は外来種が生物多様性を喪失させることです。近年では、2010年に示された愛知目標に基づき、在来種や生物多様性の存続を脅かす外来種の選定が、環境省では「特定外来種」、北海道では生物多様性条例のもと「指定外来種」として進んでいます。

北海道内に生息するニジマスとブラウントラウトもIUCNの侵略的外来種とされています。これまでの研究成果から、この両種は、競争や捕食などの種間関係を通じて魚類をはじめとする河川の生物多様性を本来の姿から大きく変えてしまったことが分かってきました。そこで、生物多様性を守るために法的な規制をもとめる意見がある一方、両種とも釣り人に人気が高く、ニジマスについては釣り対象として自治体による放流も行われています。また、「法的規制をかけるのは、ニジマスとブラウントラウトのどちらか一方にしよう」という声もありますが、なぜこのように「天秤にかける」必要があるのでしょうか？

ニジマスやブラウントラウトをはじめとする外来魚と人間との関わり方については、皆さん、色々と思うこと、言いたいことがお有りかと思えます。しかし、それぞれが言いたい放題ではなかなか話はまとまりません。それよりも、外来魚問題の論点を共有させたいので、市民・釣り人・研究者・行政関係者などの方々の意見に耳を傾けてみませんか？

### ■ 基調講演

「我々は外来生物にどう向き合うべきか？」 五箇 公一(国立環境研究所)

### ■ 事例紹介

「北海道に生息するニジマスとブラウントラウトについて」 長谷川 功(北海道区水産研究所)

「北海道の外来種対策について」 武田 敏朗(北海道環境生活部)

「ニジマス釣り・ブラウントラウト釣りを科学する」 坪井 潤一(増養殖研究所)

「釣り人にとってのニジマス」 三浦 幸浩(ニジマス未来プロジェクト)

「子ども達に本物を伝えよう ～在来種は、おもしろい～」 町田 善康(美幌博物館)

### ■ パネルディスカッション

テーマ：外来種とどう付き合うべきか

### 北海道淡水魚保護ネットワークとは？

設立趣旨＜北海道は日本の中でも自然の宝庫と言われています。自然環境を守るためには、生態系全体を守るとともに、その基本構成要素の一部である在来種を保存することが重要です。しかし、近年、北海道でも開発事業に伴う野生生物の生息環境の悪化、乱獲や外来種の影響などにより、野生生物の種の減少が進んでいます。例えば、北海道に生息する淡水魚は71種1亜種を数えますが、絶滅のおそれがあるなど保護上重要な種は22種、8地域個体群、7留意種にも及んでいます。また、外来種ブラウントラウト等が河川湖沼生態系や在来種に影響を及ぼしています。このような現状を踏まえ、北海道の淡水魚と自然生態系を守るため、「北海道淡水魚保護ネットワーク」を設立しました。運営委員会 2001年1月20日＞

(ホームページ URL <http://www.hokkaidofreshwaterfishconservation.net/>)

(フェイスブック URL <https://www.facebook.com/hokkaidofreshwaterfishconservation>)

### 北海道生物多様性保全活動連携支援センター(HoBiCC)とは？

北海道の環境保全に取り組む(公財)北海道新聞野生生物基金、(地独)北海道立総合研究機構環境科学研究センター、(公財)北海道環境財団の3団体が構成するセンターです。

設立趣旨＜生物多様性の保全についての普及啓発や地域の生物多様性の保全に繋がる活動・調査研究への支援等を展開し、北海道の豊かな生物多様性の保全に貢献するために、「北海道生物多様性保全活動連携支援センター」を設立しました。2014年4月4日＞

(ホームページ URL <http://www.heco-spc.or.jp/HoBiCC/index.html>)